

14 木曾川郷土自慢観光物産展

- 【日 時】 平成 26 年 10 月 22 日（水）～25 日（土）
【場 所】 愛知県一宮市 名鉄百貨店一宮店
【内 容】 以下のとおり

「木曾川沿川濃尾連携の会」が主催する第 14 回木曾川郷土自慢観光物産展に参加し、木曾路を代表する物産の販売及び観光 P R を実施しました。

- ※ 出店者：田澤養鱒場（大桑村）・・・ますのうの花漬、甘露煮等の販売
うるし塗り工房こばやし（木曾町福島）・・・塗箸、椀等の販売
木曾どぶろく研究会（上松町、南木曾町）・・・どぶろくの販売
木祖村観光協会（木祖村）・・・漬物の販売
ファーストグリーン（大桑村）・・・椎茸の販売
- ※ 来場者数：19,000 人（H25 年度：15,000 人【3 日間】）
※ 売上：5,075,773 円（内木曾出店者関係分：829,568 円）

これまで 10 月中下旬の週末 3 日間で開催されてきましたが、今回は参加自治体と百貨店との間で日程調整の上 10 月下旬の 4 日間となりました。

初日はオープニングセレモニーが 1F 玄関口で行われ、地元保育園の鼓笛隊演奏や木曾川沿川自治体のゆるキャラが参加し盛り上げていました。木曾からは木曾広域連合代表副連合長として貴舟大桑村長が出席し、テープカットに参加しました。

メインエリアとなる名鉄百貨店 6F の特設会場には 24 店舗が出展しており、木曾地域からは今回 5 店舗が参加しました。期間中は木曾広域連合職員がサポートスタッフとして参加し、出展者の販売補助や抽選会の当番員として従事しました。

物産展内で一定金額のお買い物をしていただくと抽選ができるようになっており、参加自治体の特産品や公共施設の入場券等が当たりますが、木曾地域からはひのきの箸のほか「鱒のうの花漬け」を景品として提供しました。

今年は最終日を除き平日のイベントとなったこともあり、1 日あたりの来客数が若干少なかったせいか、昨年に比べて売り上げも落ち込みました。会場となる百貨店の事情もあり、開催期間を固定化することが難しい状況ですが、より多くの方に木曾の特産品をアピールできる機会でもあるため、事業者の参加を確実に増やしていくことが課題となりました。

☆ 当日の様子



開会セレモニー（ゆるキャラ集合）



開会セレモニー（テープカット）



田澤養鱈場



うるし塗り工房こばやし



木曽どぶろく研究会



木祖村観光協会



ファーストグリーン



抽選会の様子